



学校だより

平成30年4月27日(金)

第773号

さいたま市立日進小学校

TEL: 663-6942

当たり前のことを当たり前

校長 飯島 政範

風薫る5月、こいのぼりが元気に泳ぐ爽やかな季節になりました。

業間休みのチャイムとともに、中庭では1年生の歓声が響きます。校庭や体育館では、6年生が真剣にバスケットボールの練習をしています。子どもたちは、校庭の割り当てられた場所で所狭しと、鬼ごっこやドッジボールなどで遊んでいますが、終了の時間には、整然と教室に向かいます。

新学期を迎えた教室には、新しい学年・新しいクラスになり、今年はこのようなことをがんばりたい、このような1年間したいなど、子どもたちの笑顔とともに、1人ひとりのめあてや目標などが掲示してあります。

- ・国語や算数の勉強をがんばる。文字を丁寧に書く。
- ・毎日家庭学習や自主勉強を1時間がんばる。
- ・たくさん友達をつくり、多くの子と仲よくする。
- ・言われなくても家の手伝いをがんばる、など

1人ひとりが自分の目標や、今年の決意を丁寧に書いています。

また、1年生は勉強の仕方や学習のルール、友達と遊ぶ時の約束など、学校生活に慣れるための勉強をしています。教室に入ってみると、凛とした姿勢から真剣に勉強している様子が伝わってきます。鉛筆を強く握りながら、ひらがなのとめやはらいなどに気を付けて、1文字1文字丁寧に書いています。字が書けた子は、次は色鉛筆で色をぬります。そして、休み時間になると、水飲み場の前で順番に水を飲んだり、手を洗ったりしています。学校は、勉強だけでなく、集団生活や社会のルールなどを学ぶ役割を担っていることを感じます。決まりを守る小さな社会人を見ながら、健やかに育ってほしいと願っています。

今年度は、「あいさつをする」「掃除をする」「くつをそろえる」ことの大切さを指導します。生活していく上で、基本的な生活習慣を身に付けることや、小さなことがしっかりできることなど、「当たり前のことが当たり前でできること」が重要だと思います。決まりを守ることや生活習慣は、一朝一夕で身につくものではありません。家庭と連携協力し、子どもたちの背中を押したり、手を引いたりしながら、定着に努めてまいりたいと思います。

はきものをそろえると

心がそろとう

はきものがそろとう

ぬぐとぎにそろえておくと

はくとぎに心がみだれない

だれかがみだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そうすればきつと

世の中の人の心もそろとうでしょう

藤本 幸邦
(長野県円福寺住職)

「端午の節句」は5月5日で「菖蒲の節句」ともいいます。強い香気で厄を祓う菖蒲やよもぎを軒につるし、また菖蒲湯に入り無病息災を願った慣わしがあります。昔は、「菖蒲」と「尚武」という言葉をかけて、勇ましい飾りをする男の子の節句でしたが、祝日法では「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」と定めています。

今月も教職員とともに、子どもたちの健やかな成長のためにがんばってまいります。